

校長だより

福津市立福間東中学校

校長 猪股 清貴

平成 28 年 6 月 14 日 No15

教育実習生を迎え学習に取り組みましたⅢ

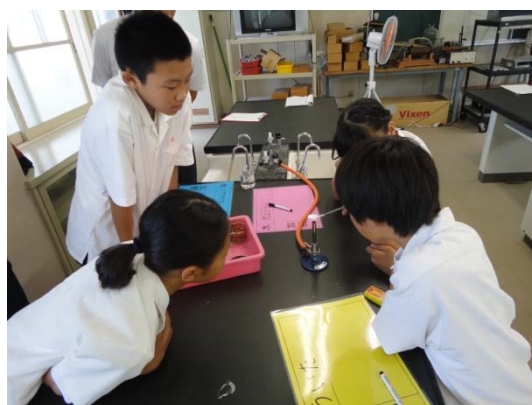


教育実習生の授業報告最終回です。熊本県益城町出身の実習生をお迎えしました。故郷の益城町は未だ震災の爪痕が深く残っており、出身中学校での教育実習が難しいということで本校で実習をお引き受けしました。担当していただいた國廣先生と一緒に一生懸命に授業に取り組みられ、1年生の皆さんも楽しく理科の授業を受けることができたのではないのでしょうか。

本時は「どうしてペットボトルを分別するのか調べよう」というめあてを通してペットボトルに

使われている3種類のプラスチックの性質を調べ、プラスチックの種類によって性質や用途が異なることを発見することが学習の目的です。小学校3年生では身の回りの物質について、同じ体積でも重さが違うことや、磁石に引き付けられる物とそうでないものがあることや電気を通すものとそうでないものがあることを学習してきました。中学校ではガスバーナーを使い加熱することによっても物質を区別できることを学習していきます。

この日は実習最後の査定授業の日です。実習の先生方にとっては試験の日でもあります。先生も一生懸命で



すが授業を

受ける1年4組の生徒も真剣そのものです。元気のよい挨拶とともに授業が始まりました。先生がコンビニでとってきた写真を示しながら「どうしてペットボトルを分類するんだろうね」と発問します。そして、分類する方法をみんなで考えます。予想を立てたら、いよいよ実験です。ガスバーナーの使い方は前時まで何度も何度も練習してきました。どの班もスムーズに加熱実験を行う



ことができます。顔を寄せ合いながら実験結果を見つめる姿はみな小さな科学者です。問題を提示し、予想を立て、実験によって真実を明らかにしていく理科の授業です。50分後にはプラスチックの性質が生徒の皆さんの力によって明らかにされることを期待しながら教室を後にしました。

これまで3人の実習生の先生方の授業を紹介してきました。どの先生方も「1時間の授業を作るのがこんなに大変だとは思いませんでした」とおっしゃっていました。この理科の授業も昨日遅くまで残って9班分の実験器具を準備してありました。それでも一番うれしかったのは「これまで小学校の教師を目指していましたが、中学校の生徒がこんなに素晴らしいということが東中に来て分かりました。来年は中学校の採用試験にチャレンジします」と言ってくれたことです。

